

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた東証からの要請内容に対して、味の素グループは真摯に向き合った対応を実施しております。



以上一連対応の**継続的な実施と毎年（年1回以上）の開示アップデート**

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

2030ロードマップでは、企業価値向上のために、キャッシュ・フローの創出、資本コストの低減、成長率の向上を掲げています。

より具体的な企業価値向上達成のため、EBITDAマージンとWACCの数値目標をKPIとして設定します。

### 企業価値向上の計算式



### 目標数値

指標	目標			
	FY22(実績)	FY23(予想)	FY25(予想)	FY30(予想)
① EBITDAマージン	15.2%	15.4%	17.0%	19.0%
② WACC<ROIC	6.0%<9.9%	6.0%<9.5%	6.0%<13.0%	6.0%<約17.0%
ROE	12.9%	12.4%	18.0%	約20.0%

FY30までに  
**EPS約3倍**  
(FY22対比)を  
目指す

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

キャッシュ・フロー創出に向けて、本業の事業成長とEBITDAの改善施策に取り組んでいます。  
重要な経済価値指標としてROICを位置づけ、同時に資本コスト改善を通じWACCの低減を行います。

## ①着実なキャッシュ・フロー創出

### A：事業からのキャッシュ・フロー増加

	FY22(実績)	FY23(予想)	FY25	FY30
オーガニック成長率	9.9%	8.8%	5.0% (FY22-25)	5.0%~ (FY25-30)
EBITDAマージン	15.2%	15.4%	17.0%	19.0%

### B：EBITDA改善策

取組み例	
キャッシュ・フロー改善	23年4月 調達戦略部設立 ・ 調達リスクへの適時対応 ・ 調達コストへの可視化 ・ 原料共通化取組み等
	SCMプロジェクトと 棚卸資産の最適な管理 ・ SKU削減 ・ DX推進 等
	シェアードサービス拡充 とグローバルへの展開 ・ 定常業務ゼロオペレーション
	スマートファクトリー ・ 専門委員会の立ち上げ ・ 供給能力、安心&安全、生産 性等の向上

2030年  
EBITDA率  
+1%~  
向上  
(FY22対比)

## ②資本コスト（WACC）を上回るROIC向上

ASV指標の中で経済価値指標の重要項目にROICを位置づけ

	FY22(実績)	FY23(予想)	FY25	FY30
ROIC (>資本コスト)	9.9%	9.5%	13.0%	17.0%

